

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【474】

2. 日時：令和5年5月10日 13時30分～14時40分

3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、千明主任安全審査官、
津金主任安全審査官、中村主任安全審査官^{*}、服部(正)主任安全審査官、
服部(靖)安全審査専門職、府川安全審査専門職、植木技術参与、
谷口技術参与、三浦技術参与、山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

藤原技術研究調査官、堀野技術参与^{*}

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他2名

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他10名^{*}

中部電力株式会社

原子力本部 原子力部 設備設計グループ 担当 他1名^{*}

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁のチギラです。島津原子力発電所 2 号機の瀬戸昆のヒアリングを始めます。本日の説明項目は、前半が循環水ポンプず発生防止対策で、
0:00:14	後半が耐震計算書の 1 号機、施設を流路縮小工等となります。
0:00:21	それでは資料の確認と説明の詰め方について、説明をお願いします。
0:00:30	中国電力内藤です。
0:00:32	先ほどご説明あった通り前半で循環水ポンプず発生防止対策、耐津波関係で後半で、1 号機取水槽、取水槽の流路縮小工。
0:00:44	を予定しております。その間で、前半と後半の間での入れ替えがございますので一旦区切らせていただきたいと思いますと考えております。
0:00:52	それでまず前半の方の説明から進めさせていただきます。ここで 1 の説明者かわります。
0:00:58	中国電力の飯田です。それではまず資料の確認を行います。質疑はすべて 4 月 28 日です。
0:01:05	N-S に他 072 回 15 の回答整理表を資料 1 とします。
0:01:12	Na 次、1004 回 11、こちらの資料 2 とします。
0:01:19	またその比較表である、NS2.1004、第 11 カッコ費を、資料 3 とします。
0:01:28	続いて N-S に、01802 回 18 の補足説明資料を資料 4 とします。
0:01:36	N-S に岡 2 号 1 回 06 の回答整理表を資料 5 とします。
0:01:43	最後に、N-S に、02602、106 の補足説明資料を資料 6 とします。以上おそろいでしょうか。
0:01:55	はい。資料の方そろっております。
0:01:59	はい。中国電力飯田です。それでは、循環水ポンプず発生防止対策について説明をさせていただきます。
0:02:08	本日は、前回のヒアリングでのコメントの回答を行い、あわせて、前回は循環水ポンプず発生防止対策の方針を説明しておりましたので、その結果について説明します。
0:02:20	最後に、成果事項のうち個別に説明が必要な箇所について説明いたします。
0:02:25	一連の説明について説明書を変えながら通して実施させていただきます。説明時間は約 10 分となります。
0:02:33	それでは、資料 1 の回答整理表、14 ページをお願いします。
0:02:43	コメント No.125 を確認願います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:48	コメント内容は、荷重の組み合わせについて余震荷重の考え方を整理して説明することです。
0:02:55	こちらについて資料 2 の通しで 67 ページを確認願います。
0:03:06	こちらの章では、非常用海水ポンプ等の取水性及びその影響防止に係る評価について記載しており、
0:03:14	影響評価の対象機器として、非常用海水ポンプ本体及び漂流物としての評価として除じん機を記載しておりました。
0:03:23	今回こちらに循環水ポンプ、鬱防止板を追加していますが、これまでの記載では、影響評価として考慮する荷重は、津波荷重のみとなっております。
0:03:34	島根 2 号機では考慮する津波には、地震に付随して発生するものがあることから、津波荷重と余震荷重を組み合わせる評価を行っており、
0:03:44	今回、先ほど挙げた機器について、津波荷重と余震荷重の組み合わせについて検討いたしました。
0:03:54	まず、非常用海水ポンプについては、津波荷重と余震荷重を組み合わせる評価を実施し、結果を通して 72 ページに示しております。
0:04:05	表 3-16 に記載の発生応力値は、津波荷重のみのときより増加しておりますが、いずれも許容応力以下であることを確認しました。
0:04:16	また除じん機については、通しで 89 ページに緻密通り、
0:04:21	津波荷重の作用する評価部位に対して提示緻密と。
0:04:25	津波に対して、構造上余震荷重が作用しないことから、組み合わせる評価を実施しない旨を記載しております。
0:04:32	最後に今回追加した循環水ポンプ防止板については、通しで 90 ページに示す通り、地震荷重との組み合わせを考慮した評価を実施しています。
0:04:41	No.125 のコメントに対する回答は以上となります。
0:04:46	続いて、循環水ポンプ宇津防止イダの強度評価結果について示します。
0:04:52	資料 4 の補足説明資料、通しで 31 ページ、ご確認願います。
0:05:01	先ほどの説明の通り、津波荷重と余震荷重を国井さんと合わせた評価を実施することから、新基準に対する記載を追加しております。
0:05:11	またその他の修正事項としまして、組み合わせ応力の考え方を通しで 33 及び 34 ページに追加し、38 ページ以降の応力計算の章に計算モデル図を追加いたしました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:26	こちらの図を追加したことにより、通しで 33 ページの図 3 本と 5-3 に記載の内容と重複するため、こちらの図については削除を検討させていただきます。
0:05:39	また今、ベイズの 3 ポツ 5-3 と 3 ポツ、5-4、
0:05:43	を見比べますと、矢印の示す範囲が若干異なっておりますが、こちらはもうメインタームの考え方から、図 3 ポツ 5-4 の表記が正しいものとなります。
0:05:55	ここで資料のうちで修正すべき事項がございますので、説明いたします。
0:06:00	通しで 40 ページをお願いします。
0:06:05	こちらに記載のうち、指示はりに発生するせん断力のうち、旧Bさんの導出式に後半に作用するせん断力の項が、記載上ないため、追記いたします。
0:06:18	計算の上ではそちらを含めて算出しております。
0:06:22	また通しで 41 ページに、記号の説明がございますが、式の修正に伴い、NGLはり 1 本当たりが負担するコウハン
0:06:33	幅は、使用しないため記載を削除させていただきます。
0:06:38	また、各記号の説明のうち、数字の末尾あいが示す数字というのが、作用する荷重の方向を示していますが、そちらを説明する記載がないため、
0:06:49	前段の説明のところへ追加記載の追加の方をさせていただきます。
0:06:54	なお、i=1 というのが、水平のNS方向、=2 というのが、水平のEW方向、=3 が鉛直方向を示しております。
0:07:05	続いて通しで 43 ページをお願いします。
0:07:13	今日 3 ぽつ 5-11 の表題が、支持梁に作用するせん断力となっておりますが、正しくはブラケットに対するせん断力となります。こちらの動きも修正いたします。
0:07:26	また通しで 44 ページの取付ボルト①に発生するせん断力 9B1 の算出式のうち、最後に、は、
0:07:36	エトワール軽々になりますボルトの本数が、表記上、Nb1tとなっておりますが、正しくはND1 です。こちら計算は正しく行われておりまして記載のみの修正となります。
0:07:49	146 ページをお願いします。
0:07:54	表 3 ポツ 5-15 にある、世良尾藤気相部の信ずる国土の $\theta 1$ というものがありますが、表中にはございますが、すぐ上の記号の説明に、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:05	ありませんので、追加をいたします。修正箇所は以上となりますが、ちょっと記号の説明につきまして、現状資金の関係性からすぐ上のほうに記載しておりますが、
0:08:16	逆にまとまっておらずわかりづらい点があるかと思っておりますので、前段で表形式等にするなどまとめることを検討させていただきます。
0:08:25	最後に通して 48 ページに結果の方を示しております。
0:08:31	表の 3 ポツ 5-17 になります。
0:08:34	前回発生応力をお手書きとさせていただいておりましたが、今回記載をしております。
0:08:40	発生応力は許容応力以下であることから、津波荷重及び地震荷重に対して、循環水ポンプ、渦防止板は健全性を有することを確認いたしました。
0:08:51	また、こちらの資料につきまして、今週の月曜日に、循環水ポンプ防止等防止イイダの耐震計算書のヒアリングを行っております、
0:09:01	そちらで受けたコメントにつきまして、この資料で反映が必要な保証については、確実に入りしっかり修正させていただくことを考えております。
0:09:11	続いてコメントの回答に移りますがここで説明者の方変わります。
0:09:19	中国電力の土谷です。
0:09:22	資料 5 の
0:09:26	2 ページをお願いいたします。
0:09:31	コメント整理。
0:09:33	コメントの正解等整理表のナンバー12 番。
0:09:37	取水槽に対する影響について説明すること。
0:09:41	コメントをいただいております。こちらにつきましては、
0:09:45	資料 6 の 163 ページで回答させていただきます。
0:09:51	いたしましては、
0:09:55	宇津大下設置に伴う荷重増が、取水槽の耐震性評価による影響が軽微である理由を記載しております。
0:10:06	163 ページをお願いいたします。
0:10:10	ここでは、水槽の耐震評価に用いる機器、液下流について示しております。
0:10:17	今回の修正以前は中期、黄色ハッチングしている箇所に、除じんポンプ移設に伴う影響について記載をさせていただいております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:26	今回の分コメントを踏まえまして宇津大下の設置による荷重増が全体の荷重に対して1%以下と極めて小さいことから、現状の最下条件のまま解析を実施する。
0:10:37	というふうに記載のほうを修正しております。
0:10:40	はい。コメント回答については以上です。また説明者かわりまして説明を続けます。
0:10:48	はい。中国電力の飯田です。それでは最後に適切映しております資料の適正化事項のうち、個別に説明が必要な箇所について説明いたします。
0:10:58	資料1の15ページをお願いします。
0:11:05	適正化事項No. 542を確認願います。
0:11:11	今回、評価に用いています津波流速を設定する際に、比較対象として想定する津波流速を適正化しております。
0:11:20	理由としまして、これまで比較対象としていました。
0:11:23	比較対象としていた津波流速を、取水槽内において、最も流速が速くなる条件を想定し、循環水ポンプ運転時に、日本海島縁部に想定される地震による津波が発生した際の値を記載しておりました。
0:11:39	しかし島根2号機においては、日本海島縁部の津波が敷地へ到達する前に、循環水ポンプを停止する運用としているため、戦術しました条件は発生しないことから、
0:11:51	現実的に起こり得る、各基準津波の入力値をもとに企画対象の流速を設定しております。
0:11:58	もともと、津波の強度評価対象設備につきましては、比較対象の流速を上回る値を条件として設定していることから、発生値や評価結果に変更を伴う適正化ではございません。
0:12:11	上回っていることを比較する、相手側の数字が変わったものと認識いただければと思います。
0:12:18	次に、資料1の17ページ。
0:12:21	適正化事項No. 575を確認願います。
0:12:29	設計進捗により、係船中の設置位置に若干の修正が発生いたしました。対津波設計に関する資料への影響として、係留策、こちらは船等を経由せん中をつなぐロープになりますが、こちらの耐力評価を行っている箇所について、
0:12:45	位置の変更により、数値が若干変更となっております。
0:12:49	資料4の通しで50ページをお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:58	こちらが
0:12:59	桂川係留索の耐力評価。
0:13:02	塚原係船伝えしている補足説明資料で、具体的な変更として、通しで 53 ページの図 4 本と 3-1 と配置図等を変更しています。
0:13:12	数値の変更は増資で、58 ページに示す表 4 ポツと 3-4 で、船首方向の停留力が 21.6 から 21.7 に変更となっています。
0:13:24	結果としましては、通しで 62 ページに示す通り、発生する流圧力に対し係留力が上回っているため、対抗可能であるという結論に変更はありません。
0:13:36	最後にまた資料 1 の 17 ページ。
0:13:39	適正化事項 No. 578 を確認願います。
0:13:45	一番最後の適正化事項となります。屋外タンク等からの溢水評価について、伊勢側のヒアリングで説明させていただいた内容を解く説明資料に反映しております。
0:13:57	資料 4 の通しで 64 ページをお願いします。
0:14:05	5 ポツ 5 ポツ 1 評価条件の記載を最新化しておりますが、一部修正を示す黄色パッチングに漏れがありました、(2) 及び (3) の全体がハッチングの対象となります。
0:14:18	また、以降のページが、溢水評価結果を反映したものとなります。こちらにつきましても先日のヒアリングで受けたコメントで本資料において反映が必要な箇所については、確実に修正をさせていただきます。
0:14:32	説明は以上となります。
0:14:37	はい。規制庁チギラです。それでは今、
0:14:40	説明がありました内容に対して、
0:14:43	確認する点や質問する点がある方をお願いします。
0:14:56	規制庁のハットリです。
0:14:58	資料一番の、
0:15:04	14 ページをお願いします。
0:15:11	ヒアリングコメント番号 125 番について、
0:15:15	これ、荷重の組み合わせについては余震荷重の考え方を整理して説明することということだったんですけど、基本的には余震荷重、
0:15:24	は考慮して評価をする。
0:15:27	ということで理解をしています。
0:15:30	一方
0:15:31	除じん機については構造上、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:35	余震荷重を作用しない。
0:15:37	そういうことになっていて、
0:15:42	今日説明がし②の資料。
0:15:48	89 ページ。
0:15:52	に記載してるんですけども、
0:15:56	これは記載だけなのかもしれないんですが、
0:15:59	有意な余震荷重が作用しない構造って書いてんですけど、
0:16:07	本、
0:16:08	この言葉だけでは、
0:16:11	なぜ言うイナー。
0:16:13	余震荷重が作用しない構造なのかがわからない。
0:16:17	ので、もう少しここは記載を拡充していただきたいと思っています。
0:16:22	例えば、
0:16:25	これ余震荷重や余震課長じゃないすか除じん機の概要の図を見ると、このチャンスみたいになってるところは、
0:16:33	明らかに自重を持っているので、
0:16:35	余震荷重がかかるんじゃないかなって、普通は思うので、
0:16:41	これは少し説明が足りないんじゃないかなと思いますがいかがでしょうか。中国電力田村です。
0:16:47	チェーンでぶら下がっているので周期が非常に長くて、地震の 0.10 からそういう周期は言えないという意味で、非常に重要な設備、
0:16:58	ですので、という説明が、服部さんのおっしゃられた通り、
0:17:02	記載してませんので、その理由を追加します以上です。
0:17:06	規制庁の服部です。そうですね。それがないと多分、この言葉だけでは審査官としては本当に、
0:17:14	そういうことなのかどうかっていうのがわかりませんので、その規制の拡充をお願いいたします。
0:17:20	それと、あとは記載の話なんですけれども、
0:17:26	資料の④の 40 ページをお願いします。
0:17:35	先ほど政治、
0:17:38	QのB-Iと、1 度Q-B-3 については、装置の意味をきちっと追求していただくということで説明がありましたので、それは結構なんですけど、
0:17:49	もう 1 点
0:17:51	旧のBの一井の式の中にはこのあるダブルB。
0:17:56	この説明が一ちょっと見当たらなかったんですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:00	このダブルBというものの説明はどっかにあるんでしょうかどうぞ。
0:18:17	はい。中国電力の井戸です。
0:18:24	PEIにつきましては早野式張りに対応する荷重のことでございます。はい、能登でございます。
0:18:35	ざっと見たところは抜けているように、
0:18:38	見えましたのは、記号の説明等はい。1ヶ所にまとめて抜け漏れがないように、記載の方さしていただくことは考えておりますので、こちらにつきましても、はい。抜け等ないように適正化させていただきます。以上です。
0:18:54	規制庁の服部ですわかりました。
0:18:57	このために確認しておきますけど、38 ページ、ここにWっていう数字があります。規模があります。
0:19:05	これは、後半に作用する荷重、
0:19:11	だというふうに式からは読めると、FDHとFDVがかかって、それなりの角度で掛けてあるので、それでわかるんですけど、
0:19:22	麻生と同じような荷重がこの
0:19:25	縛りのところのLBのところにかかっているのがダブルBだということで理解して大丈夫ですか。はい。
0:19:35	はい中国電力の飯田です。はい、ご認識の通りの数字のBが示しますのが支持梁を占めアノは示しておりますので、そのような理解で。はい。問題ありません。以上です。
0:19:47	規制庁の服部ですはい。わかりました。私から以上です。
0:19:57	はい。橘田チギラ谷津他、確認する点等ございますか。
0:20:21	規制庁、結城です。
0:20:26	はい。
0:20:33	資料 2。
0:20:35	90、89 ページ。
0:20:40	お願いします先ほどやりとりがあった、
0:20:45	除じん系に対する余震評価んですけど、周期は長くて、
0:20:53	加速度が小さいってこと、説明があったんですけど、
0:20:58	90 ページ、表 3-18。
0:21:04	その結果を見ると、これ、
0:21:09	津波に対する評価だけだと思んですけども、ば血糖に関しては、最大応力と協力がかなり近くて、
0:21:21	余裕があまりないんですけど、これーにその余震、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:26	荷重による
0:21:28	登録を足しても問題ないほど、発生力が小さいという理解でよろしいでしょうか。
0:21:45	はい。中国電力の井田です。はい。
0:21:49	記載につきましてそもそもちょっと想定しております。津波の流速が除じん機につきましてはかなり大きな値を使っておりますので、実際にはこちら、これだけのはい。
0:22:03	効力が発生するものとは思っておりません。当間、白井三沢の余震荷重とはい重畳させた。
0:22:09	評価をしたとしても協力の中にはいおさまると考えております以上です。
0:22:15	はい。中央規制庁xちょっとそれは定量的に示していただきたいんですけど、
0:22:21	中国電力のナガタですちょっと先ほどのイダの説明を補足させていただきます。89 ページの確認条件というところがございますけれども、
0:22:32	津波流速を、本来考えるべき最大流速 1.06 に対して、はい。ちょっと評価上の
0:22:41	経緯等もございまして倍以上の 2.4 メーターという値で
0:22:48	はい、ある意味ちょっと協力、どこまでいけるかというような感じの評価をしておりますのでちょっと
0:22:55	90 ページの表は、融度が少なく見えますけれども、はい。実際は、評価上、流速が倍以上ということで十分裕度があるものだと考えてます以上です。
0:23:11	青木社長、植木です。流速に余裕があるということも含めてっていうことかもしれないんですけど、ただこの結果だけ見るとですね、
0:23:25	暴力がかなりでかくて、本当にその余震荷重、
0:23:30	加えても、
0:23:32	最初に設定し、したっていうのはそれなりの何か理由があって設定したと思うんで、流速に関してはですね、
0:23:40	この資料だけを見ると、ちょっとなかなか、
0:23:45	これで本当っていう話にしかならなくて先ほど、
0:23:50	89 ページの説明を、
0:23:53	拡充するっていう話ありましたけど、まず、ただ、その周期止めなくてとかっていうだけだと、ちょっと
0:24:00	ちょっと確認できないと思うんで、
0:24:05	定量的にちょっと示していただきたいんですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:09	中国、中国で、
0:24:12	中国電力タムラです。まず、流速が 1.09 で
0:24:17	2.4 メートルなので 1.09 番すると、これに比例しますので、応力は、
0:24:24	今 225 になってますけど 112 とか、そういう、もうほぼ比例した数値になります。
0:24:33	それとあと、
0:24:35	余震荷重ですけども、だからこれちょっと、
0:24:38	今、きちんと申し上げられませんが、多分固有周期は、
0:24:45	これ、
0:24:46	ピークは 0.1 秒とか 0.2 秒とかに立ってるんですけど、
0:24:50	多分 2 秒とか 3 秒とか 4 秒とか、5 秒より長いかもしれないちょっと、もうちょっとそこはちゃんと当たりますけどもその周期を出して、もうスペクトルが落ちてるところになりますので、
0:25:00	応力が幾らっていう形はちょっと、
0:25:04	なかなかそうやとこうなるとなかなか難しくなるんですけども、こういう周期をお示ししていただくと、スペクトルのどこに来てるかっていうのがわかると思いますので、
0:25:16	ちょっとそういう、
0:25:19	アマハンで定量的というか、そういうふうな形でお示しできると思いますので、
0:25:24	それをご説明します以上です。
0:25:28	規制庁大木です。よろしくお願ひします。それで、ちょっと確認なんですけどこれ、Ss に対する、
0:25:38	影響評価っていうのもやっていてそれは計算書の方は別にあるっていうことなんですけど、
0:25:45	その際にはこのチェーンとか、飛ぶバケットっていうのは評価対象にはなっていないということでよろしいでしょうか。
0:25:54	中国電力タムラですはいそうですね
0:25:59	もう、
0:25:59	非常に重要な施設ということで進化中はもうもう軽微であるということで、そこではこの下の備蓄とか、上の基礎ボルトとか、その
0:26:11	骨組みの方を評価しております。以上です。
0:26:16	規制庁池です。はい。わかりました。
0:26:21	それ、
0:26:22	この

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:28	等、ちょっとこれ記載。
0:26:31	だけなんですけど 92 ページの、
0:26:38	フォローのですねSS。
0:26:43	すいませんSsに対する評価の、
0:26:46	ところの説明で、
0:26:51	Cクラスで
0:26:53	地震で破損しましたとそれで、
0:26:57	さらに津波ミイ相互の津波で移動した場合に、
0:27:02	ここにアノ町じゃっ化を実施した、非常用海水ポンプへの波及的影響っ ていうふうに書いてあるんですけど、
0:27:11	これはあるんですかね。この意味は、
0:27:15	長尺化したことによって、
0:27:22	ポンプ室Ⅱの
0:27:24	本店に近いところまでポンプがあるのでそれで、
0:27:29	ぶつかる可能性が移動してぶつかる可能性があるっていう、
0:27:34	ことで、定尺を化を実施したっていうことを書いているんですかね、仮に 長尺化してなかったら、
0:27:43	この評価はやる必要ないってことなんですかね、この文章の意味をちょ っと教えていただきたいんですけど。
0:27:51	中国電力、丹宇田です。長尺化したことによって、ぶつかりやすくなっ てると思うんですけど、ここにあって長尺化を実施したってことは、
0:28:01	次、下からぶつかりやすくなったとか、記載する必要ないと思いますの で、一応若干を実施した記載を落としたいと思います以上です。
0:28:12	規制庁、植木ですはい、わかりました。
0:28:16	それともう1件確認なんですけどこれ、地震に対する波及影響っという のも、
0:28:24	松波とは関係なくなくですね、
0:28:32	入ってますか。
0:28:37	非常用の海水ポンプに対する波及影響という評価を、
0:28:42	やっぱ
0:28:43	やっていると思うんですけども、まずやっやっしてるんでしたよね。除じ ん機等、
0:28:54	もう一つの
0:28:57	そうですね、循環水ポンプ、
0:29:00	整流器じゃなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:05	はい、中国電力田村です
0:29:07	ご説明させていただいておりますけども、耐震の破棄をやっております。
0:29:14	規制、規制庁植木です。はい。中国電力の長田ですもうちょっと詳しく、
0:29:20	はい。こちらの宇津防止板の方でんですと、92 ページの先ほどの(口)のところですね、これの第 2 パラグラフに、地震に、
0:29:31	よる破損に対する評価はということで波及影響の計算書呼び込みをしています。
0:29:38	それから、除じん機の方も、
0:29:43	90 ページの同じく、上段の(口)の
0:29:48	第 2 パラグラフに同じように、経産省番号つけて読み込んでおりますので、こちらの計算書になります。以上です。
0:29:58	伊勢規制庁駅ですはい。わかりました。そうすると、計算書自体はその波及影響。
0:30:06	の方の地震の波及影響の方の計算書があつて、それ、結果的にそれを見れば、
0:30:14	津波、
0:30:16	に対する波及っていうか、それも確認できると、そういう、
0:30:24	ことって、
0:30:25	いうこと。
0:30:27	Ssで壊れなければ、漂流しないんでっていう、そういう、
0:30:32	読み方をすればいい。はい。中国電力のナガタですはい。Ssに対して、壊れなければ表示しないとそのご理解の通りです。ここはさらに、津波荷重、
0:30:43	波力とあと、SDの余震の重畳というものを、ここではご説明をさせていただいているという整理です。以上です。
0:30:51	規制庁、植木ですはい。わかりました。ありがとうございます。
0:31:00	すいません。
0:31:03	ちょっとお待ちください。
0:31:18	あ、すみません、69 ページをお願いします。
0:31:24	ちょっと前後してしまうんですけど、
0:31:30	これも期さの確認ですけど、8 ポツで下から 2 行目で循環水ポンプ宇津防止とCクラスであることから、
0:31:41	津波の要因となる地震による破損の可能性。
0:31:47	あんま波及的影響について評価するという記載なんですけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:51	このは、
0:31:54	津波の要因となる地震によるって意味ってというのは、これは、
0:32:01	どういう意味なの。
0:32:03	ですか。
0:32:05	あ、はい中国電力の長田です。こちらは一応津波、耐津波設計の補足説明資料ということになりますので、一応
0:32:18	津波の影響となりうるというと、島根で言うと、海域活断層の地震とかそういうことになりますけれども、そういう
0:32:26	他の、64 ページの除じん機のところも同じような、確か記載が、
0:32:34	すいません、ちょっと。
0:32:39	ええ。
0:32:41	すいませんちょっと訂正いたします。
0:32:45	津波の説明書の補足説明等でそういう記載になっておりまして先ほどご説明させていただきましたように、すべて基準地震動Ssに対しての評価は、
0:32:56	波及地震の波及影響の方でご説明しているとそういうことになります。以上です。
0:33:03	規制庁植木です。そうすると
0:33:07	基本的な考え方としては
0:33:13	海域活断層の地震を考慮すれば良いのであって、
0:33:18	ただ、Ssに対する評価もやってあるので、その結果はそちらを呼び込んでるっていうふうに読むのか、それとも、
0:33:30	はい。
0:33:31	体感活断層、
0:33:34	層が最も
0:33:39	組み合わせるべきものなんだけれども、やはりSsが必要っていうことでやってるのか、ちょっとその辺の考え方を教えていただきたいんですけど。
0:33:49	中国電力田村です。まず、純粹忍耐力としては景況の可能性があるのでそれはもうSsに対して必要です。ここでは、津波、
0:33:59	に対して評価するんですけど、松波。
0:34:02	と組み合わせるべき余震荷重、
0:34:04	その余震荷重の波源としては、津波の要因となる地震という意味で書いております。
0:34:12	以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:15	規制庁でずっとそうするとまた以降の津波の要因となる。
0:34:22	と言ってるのは、余震の評価に対して、そう言ってて、
0:34:28	ということなんですかね。何かちょっとその辺は、ちょっとごちゃごちゃで、
0:34:34	よく読み取れないんですけど、
0:34:39	はい、中国電力の長田ですすいませんこのまた以降は余震ではなくてですね
0:34:45	地震の影響も考えますということで先ほど例えば、
0:34:52	著者、
0:35:00	そうですね、例えば 92 ページですと、
0:35:04	はい。一応津波の、これは補足説明で、説明書ではあるんですけども、
0:35:11	92 ページ目の炉の
0:35:13	一番最後のところですね、以上より、循環水ポンプず防止板は、津波または地震により漂流物とならないことを確認したという締めくくりですので、
0:35:25	津波の
0:35:28	要因となるアノた、まず津波が来る前の単発の地震でも壊れませんし、津波が来た後に、余震を重ねさせた、
0:35:38	津波と余震を重ねさせたものでも壊れませんか、そういう説明になっています以上です。タムラですちょっと私が言ったのがちょっと間違ってたところあるので、
0:35:50	地震単発が考えますけども、ここは津波の説明書なので、宍道断層みたいに、陸域のものは、そのあと、津波とか考えないのでそれは、
0:36:01	除外してて、海域の活断層とかを考えますと、
0:36:05	ということで、津波の評価の中での耐震の位置付けとしてはそう位置付けてます。ただし、結局それを上回る、陸域の地震も含めた、
0:36:17	津波荷重との調整等、重畳がないものについてはもう結局耐震の方で、もうそこも含めてやっているのもそれ呼び込んで大丈夫ですとお示ししてくるといふそういうことで、ちょっと深い、すみません、間違えまして失礼しました。
0:36:32	規制庁植木です。考え方はわかりました。
0:36:36	ただ、何かやっぱり 69 ページとなんか 92 ページの繋がりというか、69 ページで記載してるのと、
0:36:48	92 ページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:50	92 ページの記載のところに、何、何かこう、
0:36:55	綱つなぐつなぎの言葉がいるんじゃないかなと思うんですけど。はい。中国電力の長田です。はい 68 ページの方、すみません 69 ページですか。
0:37:05	6869 同じ記載があるんですけどもはいここでは、植木さんおっしゃっていただいたように、
0:37:13	負あえてこの津波の要因となるという枕詞がいるかどうかというと、
0:37:19	そこまで重要ではございませんので逆にちょっとわかりにくくしているということもございますのでこの記載はちょっと家層厚で検討したいと思います。以上です。
0:37:30	規制庁植木です。ちょっと先行プラントの書き方もあるのかもしれないので、ちょっと検討していただければと思います。私からは以上です。
0:37:49	はい。
0:37:51	はい、規制庁チギラですが、ほか、
0:37:54	何かあります。
0:38:00	規制庁の服部です。先ほどちょっと説明があったかもしれないんですけど、
0:38:05	もう 1 回念のために確認させてください今の植木とのやりとりで少し気になったので、
0:38:10	本来、
0:38:12	海域活断層等、
0:38:14	余震を組み合わせるということは、
0:38:18	わかったんですけど、
0:38:21	中国電力の方針の場合は、その日本海島縁部と海域活断層を別にしているってことなんですよ。
0:38:28	だからそれを聞いて足してしまえば 1 個でいいんですけど、
0:38:31	そういう考え方じゃないので、
0:38:33	甲斐活断層プラス余震等日本海島縁部だけの時、同どっちが大きいかっていうのは基本的に両方やんなきゃいけないんですよ、中国電力の場合は。
0:38:44	それってのは確認されてるということでよろしいんですよ。
0:38:48	はい。してます。今回も包絡して評価してます。
0:38:53	規制庁の服部ですわかりました。ちょっと念のために確認だけさせていただきます

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:58	なかなかね、二つに分けると、ケースが増えて大変なんですよ。だからそこら辺はちょっとしっかりと、
0:39:06	確認させていただきたくたいと思います。あとすみませんさっきちょっと言い忘れたんですけど、
0:39:11	④の資料の 40 ページをお願いします。
0:39:19	ここでさっき言ったダブルBなんですけど、
0:39:22	これダブルBの、これ式。
0:39:25	が見当たらないんですけど、
0:39:28	これ 38 ページのWみたいな形で仕切って、算ますよね。
0:39:34	どうぞ。
0:39:40	はい。中国電力の飯田です。はいダブルBにつきましても、導出式とあります。
0:39:47	中国電力の平瀬小田桐につきましてもいきなりポンプの値が出てくるものではございませんので、はい。記載の地域とわかるような道中がわかるような記載の方検討させていただきます。以上です。
0:39:59	規制庁の服部ですはいわかりましたよろしく申し上げます私から以上です。
0:40:10	はい。
0:40:11	規制となっているんですが、
0:40:12	ほか、
0:40:14	よろしいでしょうか。
0:40:18	あるような記載の報告をさせていただきます。以上です。
0:40:22	規制庁津金です。5 番の資料の、
0:40:27	2 ページ目、デイ・シイコメント番号 12 番について、取水槽に対する影響が軽微であることはご説明を理解しました。以上です。
0:40:40	はい。規制庁チギラですか他ありますか。
0:40:45	よろしいでしょうか。
0:40:47	はい。
0:40:48	では、前半については、以上としたいと思います。
0:40:53	では、人の入れ替えがあるということで一旦ここで録音を提示いたします。
0:41:00	はい。規制庁の千明です。それでは後半のヒアリングを再開いたします。では、説明の方をお願いします。
0:41:10	中国電力竹中です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:12	今回ヒアリングでは、1号機取水槽並びに放出量縮小工の耐震計算書に対する、ご説明をさせていただきたいと考えております。
0:41:21	まず資料の確認をさせていただきます。
0:41:23	資料番号、
0:41:26	N-S新野ほか 231 回の 38。
0:41:30	資料名称は島根原子炉発電所 2 号機指摘事項に対する回答整理表、浸水防護施設施設。
0:41:35	並びに土建関係という、この資料に関しまして、資料番号 7 番とさせていただきますしたいと思います。
0:41:42	また、資料番号 8 番といたしまして、N-Sにおか 340 回、02、
0:41:50	1 号機取水槽ピット部及び 1 極集中移動全額ダクト部底盤の耐震性についての計算書、
0:41:57	に対する回答整理日を、
0:41:59	とさせていただきますと考えております。
0:42:03	続きまして資料番号番号 9 番とさせていただきますのは、N-S2.2-011-09 回 02。
0:42:13	を、資料番号 9 番とさせていただきます。
0:42:17	資料番号 10 番とさせていただきますのは、N-S2 の点に、
0:42:21	の 011 の 10、02、こちらを、資料番号 10 番とさせていただきますと考えております。
0:42:30	資料番号 11 番といたしましては、N-Sミイの辺に、の、
0:42:36	014 の中、
0:42:38	はい。02。
0:42:39	こちらを、資料番号 11。
0:42:41	1 番とさせていただきますと考えております。
0:42:46	資料ナンバー12 番とさせていただきますと考えておりますのは、N-S M-オノ 5-027-08 回の 41、こちらを資料番号 12 番と、
0:42:57	させていただきますと考えております。
0:43:01	資料番号 13 番といたしましては、N-Sエミの、
0:43:05	この
0:43:05	027-10-104 回 03、こちらを資料番号 13 番とさせていただきますと考えております。
0:43:14	お手元に資料は、おそろいでしょうか。
0:43:18	はい。三井トダテです。はい。資料の方そろっております。
0:43:26	はい。中国電力の竹中です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:29	そしたら、
0:43:31	説明を始めさせていただきます。
0:43:34	1号機取水槽の耐震評価といたしましては、4月14日のヒアリングにて、
0:43:40	明影響対象部材に対する、
0:43:42	添付資料及び補足説明資料への整理方法につきましてご指摘をいただいております。
0:43:49	そこで、全額ダクト充填コンクリートに対してある断面である南北断面の解析結果を、
0:43:55	添付資料及び補足説明資料の本文に記載することといたしまして、従来ご説明させさせていただいております。
0:44:03	東西断面モデルでの解析結果につきましては、補足説明資料の中の参考資料にて記載するという整理を行っております。
0:44:12	ここで資料番号13番、
0:44:15	の、
0:44:16	通し番号17ページをお願いいたします。
0:44:34	こちらでは、波及影響対象部材における評価対象部位の選定について記載をしております。ここについてご説明させていただき、いただきます。
0:44:45	16種類層の中で、上位クラスの1号機水槽流力昇降及び事故収束ウエキに波及的影響を及ぼす恐れのある部材の選定につきましては、以下の12の関係に基づいて行います。
0:44:57	一つ目が損傷した部材が流路縮小工に接触することの防止、二つ目が北側壁が接続する部材の健全性の確保。
0:45:06	上記の1の観点より波及的影響を考慮するエリアにつきましては、全カクダクトエリアではありますが、ピット部につきましては、ピット部閉塞盤を設置した後、充填コンクリートを打設することで、
0:45:17	抽象版より上部の部材については、損傷した部材が緑色を接触することが考えられないことから、波及的影響を及ぼす恐れのある部材としては選定しないこととしております。
0:45:28	また、側壁及び中ショウガンにつきましては、全額ダクト充填コンクリートを打設することから、
0:45:34	本操作部材が流路縮小工を接触することが考えられないことから、同じく波及的影響を及ぼす恐れのある部材としては選定しておりません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:42	上記 1 の観点が宣伝される波及的影響を及ぼす恐れのある部材といたしましては、全額ダクト充填コンクリートでございます。
0:45:50	また、非常勤の観点から、北側壁と接続する部材、東西側壁中小盤底盤及び、全額と充填コンクリートが対象となりますけども、
0:46:01	北側壁の大部分が全額を充填コンクリートと接していることから、常勤の関連として宣伝される波及的影響を及ぼす恐れのある部材といたしましては、全額充填コンクリートでございます。
0:46:12	以上のことから、波及的影響を及ぼす恐れのある部材として、尖閣と充填コンクリートを選定しております。
0:46:19	次のページをお願いいたします。
0:46:24	全額でも充填コンクリートにつきましては、収録方向のうち既設の舞台と接していない、南側を含む南北方向断面を評価対象断面として選定しております。
0:46:34	なお、東西方向断面の耐震性についての結果は、
0:46:38	参考資料 1、東西断面の耐震安全評価に記載することといたしております。
0:46:45	以上のように、
0:46:49	ここでは南北断面に着目して検討を行っております。
0:46:52	ここからは解析条件、解析手法また解析結果を記載しておるのですが、前回ヒアリングの方から変更がないことから、割愛させていただきたいと思っております。
0:47:03	また、補足説明資料の参考資料として、前回まで結果をご説明させていただいた東西断面での検討結果を整理させていただいております。
0:47:12	通し番号 81 ページ、あ、すいません同じ資料の通し番号 81 ページをお願いいたします。
0:47:27	宮尾さん、評価対象断面の選定、
0:47:30	についてご説明させていただきます。
0:47:33	波及的影響を及ぼす恐れのある部材、
0:47:35	底盤中小番東西側壁及び全額ダクト分充填コンクリートの中で、
0:47:40	2 人ござい。
0:47:42	である全額だけを充填コンクリートに着目し、本文では南北断面を対象として耐震評価を実施いたしております。
0:47:48	一方、東西断面におきましては、
0:47:51	全額ダクト充填コンクリートに水路開口があり、開口周りに弱部が存在し得ることから耐震評価を実施いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:58	今回波及的影響要素増なる部材である底盤中小番東西側壁及び全額ダクト充填コンクリートにつきましては、すべての部材について、無菌コンクリートである全額ダクト充填コンクリートとして評価を実施いたします。
0:48:11	評価対象部材につきましては、図の 2-1、並びに図のように示しております。
0:48:20	ご提案させていただいたような考え方より、波及的影響対象部材に対する耐震評価といたしましては、東西断面の解析結果を、この参考資料として整理させていただきました。
0:48:31	またここに間つきましても、解析条件、解析結果につきましては、前回ヒアリングから変更がないことから、説明は割愛させていただきたいと考えております。
0:48:39	以上でご説明を終わります。
0:48:44	以上です。
0:48:47	はい、筒井ではチギラ別、それでは今の説明を含めてですね、衛藤町の後半の資料に対して確認する点がある方はお願いします。
0:49:08	規制庁の服部です。
0:49:10	一つ記載の趣旨について確認をさせてください。
0:49:14	資料 12 番の 86 ページをお願いします。
0:49:26	資料 12 番の 86 ページの(3)の黄色ハッチングしてるところになります。
0:49:33	本。
0:49:34	このなお書き以降の記載なんですけれども、
0:49:37	ここは妻壁はというの等、
0:49:43	学徒分についてはっていうなんか章が二つあるので少しわかりにくかったんですけど、
0:49:49	まず確認したいのは、
0:49:52	この 1 号機取水槽南北断面の妻壁というのは、
0:49:57	これ東西方向の壁のことを言ってるんですかそれとも南北方向の壁のことを言ってるんでしょうか。
0:50:08	中部電力の竹中です。
0:50:10	南保高校の方のことを、ここでは記載しております。
0:50:15	そうすると 1 号機取水槽南北断面の面内壁を妻壁と言っているということで理解をしました。
0:50:25	ここに書いてあるのは、その南北方向の妻壁というのは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:31	全カクダクト部の範囲だけ。
0:50:35	屋外重要土木構造物その他の屋外重要物との同じように、保守的にモデル化していないって読めるんですけど。
0:50:45	これはあれですかねえ。
0:50:47	その他の屋外重要土木構造物の耐震評価においても、
0:50:52	全カクダクト分については、
0:50:55	保守的にモデル化してないんですけど。
0:51:04	はい、中国電力イワコケです。
0:51:06	屋外重要土木構造物の方では、基本的には対象として構造物がすべて評価対象となっております、その評価対象構造物の周囲にある妻壁については保守的に、
0:51:16	モデル化をしないという方針にしております。それと、
0:51:20	基本的には同様に、今回の評価対象は全額ダクト部になりますので、そこについてはモデル化しないが、その他の部分についてはモデル化するってことを書きたかったんですけども、今服部さんが言われるように、
0:51:32	確かに、他の屋外重要土木構造物についても全額ダクト部という部分があるような記載にも見えてしまっておりますので、こちらについてちょっと記載を改めさせてもらおうと思います。以上です。
0:51:44	規制庁の服部ですわかりました。多分そうだろうなと思っていて、ちょっとこれだと、そういうふうに取り出されてしまうのと、章が二つあるように読めるので最初、
0:51:53	ちょっと意味がよくわからなかったもので、そこら辺を適正化していただきたいと思います私からは以上です。
0:52:07	はい、次はチギラですが、他、
0:52:11	ありますか。
0:52:13	はい。
0:52:14	仲村さん何かありますか。
0:52:20	はい。規制庁中村ですけども、私から記載の点ですけど、何点かコメントSIMMERす。
0:52:29	まず、今日の説明じゃないんですけどもまず資料9ですね。
0:52:38	資料9-4ページですけども、ちょっとこれは確認まず確認ですけども今この図の2-3ですね。
0:52:48	経営断面っていうのがあるんですけども、ここに補強工事を示していないっていう理由は何があるんですかというところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:58	そのあとのAA断面と同じように、断面出てくるんですけども、
0:53:03	そこには補強工事が書かれて、
0:53:08	同じ断面なのに違う絵があるから、
0:53:12	どうしたのかなと思って何か理由があってこれは、4 ページの図の 2-3 っていうのは補強工事示してないんでしょうかという確認です。いかがですか。
0:53:26	はい。中国電力の竹中です。
0:53:29	ここにつきましては、3 ページに、同じ資料の 3 ページに、2 年に、構造概要につきましては、3 ページに、3 ページ、江藤に 1 様ということで、
0:53:40	まず、構造概要を示した上で、その中で、どう補強工事を行ったかというの、示せるような形で章構成を行っておりますので、2-2-1 につきましては構造概要ということで補強工事を行う前の状態を、すべて示しております。
0:53:55	一方、6 ページ。
0:53:58	お願いいたします。6 ページに、今度新名 2-2 で、補強概要というのを示しております。で、ここで、補強、先ほどの構造概要から、補強工事を行った上での、
0:54:11	補強工事を行った後の構造等を示しているというような形になっておりますので、対比が分かるような形で、お示ししたかったというのが趣旨でございます。以上です。
0:54:26	はい。趣旨については理解しました。
0:54:32	これでもいいですし、ちょっとタイトルのところ、4 ページの図のタイトルのところに、
0:54:39	後ろの方は、補強工事実施後ってあるんでなんか実施前とかあったらわかりやすかったかもしれないんで、その辺はそんなにこだわらないですけども、
0:54:50	検討ください。
0:54:56	ちょうど年度のタケナカです。衛藤。
0:55:00	小関の趣旨理解させていただいたんですけども、図 2-3-4 のタイトルのところでまた補強工事等、記載しますと、補強工事についてその前段で全く述べてないことになりますので、補強工事では、
0:55:13	何ぞやという話になると思いますので、
0:55:16	今このままいきたいと考えております。以上です。
0:55:20	はい、了解しました。
0:55:22	続けてですね、同じ資料 9 の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:26	17 ページですね。
0:55:30	文書のところで、上から 3 行目
0:55:35	1 号機取水槽はMMR上に設置されて書かれてるんですけども、
0:55:42	これは、
0:55:43	設置されてないんじゃないですか。
0:55:46	その確認ですけども。
0:55:50	症例がタケナカです。
0:55:52	当然記載の誤記になっております岩盤上に設置されている形になりますので、次回修正、修正させていただきたいと思っております。以上です。
0:56:01	はい。そうですね。岩盤上だと思うんで、あとこれ、同時に言っておきますと資料 11 の。
0:56:09	19 ページとかも、そんな感じで書かれてるところがあったので、ちょっと他のところも含めてちょっと間違いがないか。
0:56:18	確認しといてください。
0:56:23	中国電力だけ中です。ご説明趣旨理解いたしました。確認させていただき、いただいた上で訂正して、
0:56:30	提出させていただきたいと思っております。以上です。
0:56:34	はい。お願いします。あと最後 1 点ですね資料の 11 ですね。
0:56:41	の 41 ページ。
0:56:51	ここ、
0:56:53	地盤の物性値っていうのがここで書かれてそうであるんですけど、
0:57:00	ここに何かこう、解析用物性値の表とかっていうのは必要ないんですかというところで、
0:57:10	例えばその資料 12 とかには同じような表題のところがあってそこにはこう解析物性値の表とかが示されてるんですけども、
0:57:20	このページって必要ないんですか、っていう確認です。
0:57:36	省電力の竹中です。補説につきまして補足説明資料につきましては、
0:57:42	上乘せ帳票は、記載する報告しなんですけども、添付資料につきましては、読み込む形で統一させていただいていると理解しております。以上です。
0:57:54	そういうことですね。
0:57:56	資料 11 から店舗だからということですね。
0:57:59	理解しました。
0:58:02	私からは以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:05	はい。橘田チギラれるほか、
0:58:08	確認する点とありますか。
0:58:13	特にないでしょう。
0:58:15	よろしいですかね。
0:58:17	はい。
0:58:19	わかりました。こちらから特にないんですが中国電力から追加で説明等ありますか。
0:58:28	中国電力竹中です。こちらからも特に追加の説明はございません。以上です。はい、わかりました。それでは後半のヒアリングも終了したいと思います。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。